



題字・山下太郎名誉教授

静岡大学文理・人文学部同窓会

発行人 ■藤木紀男

編集人 ■岳委員会

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学共通教育A棟

Tel.054-238-5148 Fax.054-238-5148

〈住所訂正のお願い〉

昨今の市町村合併の影響で、転居しなくても住所表記が変わるケースが増えています。順次訂正に務めておりますが、訂正漏れがありましたら最終面の「変更データ個人票」でお知らせください。

静岡大学文理・人文同窓会事務局

「予告」……………

同窓会のホームページを開設します。ネットの時代、同窓会の情報をタイムリーに公開し、会員相互の交流をさらに深めたいと思います。ただいま準備中で7月末には運営開始の運びです。将来的には、機関紙「岳」の発行部数を減らしHPに移行してゆく方針です。現在静岡大学のHPがあり、各学部同窓会の中では浜松工業会、理学部が開設して公開しています。教育学部は独自に開いていますが、今度文理・人文学部同窓会が大学のHPに加わることになります。大学のHPから開くことも出来ますし、次のアドレスから開くことも出来ます。

文理・人文学部同窓会のアドレスは次の通り

e-gaku.org

会長就任のご挨拶

文理・人文学部同窓会長 藤木紀男



このたび会長を務めることになり、会員の皆様には同窓会の運営に今後ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

静岡大学は来年創立60周年を迎えますが、人文学部移行後の卒業生は40回を数え、会員数に占める割合はますます大きくなり、今後の同窓会の担い手として多大の期待をされております。

これまで同窓会活動に若い方の参加が少ないという実情を見聞きしてまいりましたが、各支部におかれましてはいろいろな取り組みをされ、その努力に心より感謝申し上げます。

同窓会の会員には、多くの分野で活躍する豊富な人材がおり、各支部が定期的開催する総会は年齢、職種の別なく親しく情報交換をすることができます。若い方々にも是非ご参加いただき楽しい交流の場を経験していただきたいと思っております。

このような各支部の活動に加えまして、会員の皆様への情報提供を円滑にすべくホームページの開設について検討を進めているところであります。

今後いろいろな場面を通して会員の皆様から幅広くご意見をお寄せいただき、より多くの方が同窓会の活動に参加していただくよう期待しております。

先に静岡大学では“未来を拓く静岡大学—ビジョンと戦略—”を表し、社会連携を重視して自治体を初め地域との連携を強化しようとしております。

実社会で活躍する多様な人材を会員に擁する我が同窓会の活動におきましても、大学と地域社会を結ぶために何らかの役割を果たすことができるのではないかと思います。

また、国立大学法人化に併せて発足した全学同窓会の組織を通して各学部同窓会相互の連携を強め、大学の側面的な支援につなげていくよう努力してまいりたいと考えております。

各地で活躍される皆様が、各支部の活動に積極的にご参加いただくことにより同窓会の活性化が図られます。会員の皆様のご健勝と今後の一層のご協力をお願い申し上げます。

文理・人文学部同窓会 開かれる!!

新しい会長に 藤木紀男さん (文理12回法)

前会長 鈴木基之さん、長い間ありがとうございました。



次期役員選任のための総会が、2月10日(日)午後1時30分から、静岡市駿河区馬淵の「あざれあ」で、42名の会員の出席の下、来賓に土屋旧制静岡高校同窓会会長、小泉旧制静岡高校同窓会静岡支部長、浅利人文学部部長をお迎えして開かれた。鈴木基之会長挨拶「会長職を6年、副会長職を8年やってきた。その間、全学同窓会を立ち上げ、北海道支部も立ち上げることができた。新会長へバトンタッチしたい。全国の国立大学のうち、これまでに10数校の名前が消えている。名前が消えるのは、卒業生としては、非常に淋しい。同窓会としても、大学を積極的に応援していきたい。」。

土屋会長は、「平成4年の旧制静岡高70周年の際、“地のさざめごと”の石碑の建立は、文理・人文の人達の好意で出来た。今後とも、次の世代を担う皆さんにお願いしたい。」と述べられた。

岩本関西支部長を議長に選出。小林五郎さんが新役員の事務局案を説明

「選考委員会を組織し、人選を進めてきた。藤木紀男さん(文理12回法)に、新会長をお願いしたい。副会長以下は、再任でお願いしたい。」新会長以下の役員が承認された。

藤木新会長挨拶 「同窓会の会合に若い人達が参加しづらい雰囲気がある。私の母校、掛川西高の同窓会もそうだ。若い人達が大量参加できるように、懇親の場を増やし、支部活動、グループ活動の活性化を図っていきたい。また、大学の学生、教官と連携し、実社会で活躍している卒業生からのサポートを副会長以下の役員の協力を得ながらやっていきたい。」。

総会の後、「司法制度改革と裁判員制度」と題して、弁護士の大橋昭夫さん(人文2回卒法)の講演が行われた。

その後、会場を葵区昭和町の「炙りの介(あぶりのすけ)」に移し、懇親の酒を酌み交わした。

- ◎新役員 会長 藤木紀男(文理12回法)
(静岡県出納長を経て、静岡県信用保証協会会長を平成19年3月まで勤められた。)
- 副会長 (総括) 小林五郎(文理9回経)
(他同窓会関係) 辻昭(文理2回経)
(長期事業) 寺尾理(文理11回地学)
(名簿) 山口茂(人文1回外国史学)
(会報) 三島文夫(人文3回法)
(会計) 落合康彦(人文13回法)
- 監事 大橋昭夫(人文2回法)
小川利春(人文5回法)
早川登上(人文9回法)

(人文3回法 三島文夫)

藤木新会長に期待の集合

文理12回法政 愛野明宣

昭和39年卒業・文理12回生有志13名が、平成20年5月23日～24日焼津グランドホテルに集まった。遠くは金沢、名古屋、東京など県外から6名、県内は7名である。

卒業時文系・理系あわせて150名の同期生の団結は固く、数人の世話役がいて、何か理由をつけて集まるのだ。

平成11年の静岡大学開学50周年記念のとき、平成5年小生が第3代同窓会長に選出されたとき、そして今回である。その間にも、メンバーは変わるが数回集まっている。

今回は、同期の藤木紀男氏が第5代同窓会長に選出されたのを機会に、激励をかねて集まったのだ。世話役はそれぞれ仲間のグループの世話役であり、今回もグループの名簿を持ち寄り、40名に参加の呼掛けをした。3割の出席ではあったが、全員から出席・欠席の回答があった。素晴らしい事実と言えよう。

会は、近況報告であり同期生に関する情報交換、そして大学は今どうなっているのかなど、話題に事欠かない。話は尽きず15時から22時頃まで、後半は延々飲みながら続いたが、健康や趣味をはじめとする毎日の生活スタイルなどを中心に行くのは致し方ない。

同窓会活動については、会長が、第4代文理14回生の鈴木氏より年長の、12回生の藤木氏に戻った形になった。このことが話題となり、すでに卒業生も人文40回を数える現在、新しい世代へのバトンタッチが求められるのではないかと、藤木氏は若手への架け橋として特別の務めがあるのではないかなどの意見が聞かれた。また、2年後の開学60周年記念のことについても話は発展した。

思い返せば、今に続くグループは学生時代からのグループであり、親しい仲間の結びつきの

積み上げが同窓会活動の原点のようにも感ずる。

そうした意味で、人と人の結びつきは、縦のものではゼミナールだったりクラブ・サークルであったり寮の結びつきであろう。また横は、飲み仲間であったり旅行仲間等であろう。

若い人たちは、日々忙しくしていられるであろうが、そうした中においても、もしかしたら中断している縦横の同窓生の結びつきを、今一度再構築し大切にしていきたい。グループの世話役が一人でも多く出てくれることを願う。心のゆとりを同窓会に求めれば、損得抜きに得ることが多いこと請け合いである。人脈は大きく広がり、楽しい人生が長く続くと思っている。

蛇足ながら、同窓会の制度として、こうした小集団の活動に2万円までの補助金制度(通信費や会議室使用料)があることを付け加えさせていただきます。

- 集まった人(アイウエオ順)
- 愛野明宣 青木紀賢 阿部治彦 大石寿広
- 大石雄馬 加藤文夫 河合寛二
- 木俣 晁 鈴木健夫 藤木紀男 村木 進
- 望月安彦 矢野正彦



会計報告

平成 19 年度会計報告

期間 平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日
 会計 落合康彦 (人文 13)
 監事 大橋昭夫 (人文 2) 小川利春 (人文 5) 早川登上 (人文 9) 単位: 円

| | 勘定科目 | 決算額 | 予算額 | 増減 | 摘要 |
|---|--------|------------|------------|-----------|----------------------|
| 収 | 終身会費 | 7,173,455 | 8,000,000 | -826,545 | 新入生 349 名, 既存会員 18 名 |
| | 名簿売上代金 | 2,580 | 60,000 | -57,420 | 名簿等 |
| | 「岳」購読料 | 18,000 | 0 | 18,000 | 岳 6 冊 |
| | 預金利息 | 10,160 | 4,000 | 6,160 | 定期預金・普通預金 |
| | 法科支援協会 | 205,100 | 204,000 | 1,100 | 事務委託料 |
| | 運営基金取崩 | 3,000,000 | 2,000,000 | 1,000,000 | |
| | 雑収入 | 38,709 | 300,000 | -261,291 | |
| | 小計 | 10,448,004 | 10,568,000 | -119,996 | |
| | 前期繰越金 | 290,575 | 290,575 | 0 | |
| | 合計 | 10,738,579 | 10,858,575 | -119,996 | |

| | 勘定科目 | 決算額 | 予算額 | 増減 | 摘要 |
|---|-------|------------|------------|------------|-----------------|
| 支 | 総会費 | 206,365 | 500,000 | -293,635 | |
| | 会議費 | 104,030 | 100,000 | 4,030 | |
| | 交通費 | 303,640 | 400,000 | -96,360 | |
| | 印刷費 | 1,683,074 | 2,300,000 | -616,926 | 「岳」二回発行・増刊 |
| | 通信費 | 1,200,846 | 1,500,000 | -299,154 | 「岳」郵送料 |
| | 名簿諸費 | 802,733 | 1,000,000 | -197,267 | データ再入力・発行・配送 |
| | 支部補助費 | 2,002,354 | 2,300,000 | -297,646 | 基本・人数割補助, 郵送料補助 |
| | 大学関係費 | 1,754,070 | 1,150,000 | 604,070 | 研究補助金 |
| | 小集団活動 | 58,365 | 200,000 | -141,635 | 3 件 |
| | 全学同窓会 | 0 | 0 | 0 | |
| | 運営基金 | 0 | 0 | 0 | |
| | 事務所費 | 1,619,104 | 1,800,000 | -180,896 | 人件費・事務用品費 |
| | 諸支 | 216,695 | 50,000 | 166,695 | 支部総会・慶弔費 |
| | 小計 | 9,951,276 | 11,300,000 | -1,348,724 | |
| | 次期繰越金 | 787,303 | -441,425 | 1,228,728 | |
| | 合計 | 10,738,579 | 10,858,575 | -119,996 | |

平成 19 年度貸借対照表

平成 20 年 3 月 31 日現在 単位: 円

| 借方 | | 貸方 | |
|--------|-----------|----------|-----------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| (資産の部) | | (負債の部) | |
| 流動資産 | 7,192,927 | 未払金 | 0 |
| 普通預金 | 1,992,927 | 負債計 | 0 |
| 定期預金 | 5,000,000 | (正味資産の部) | |
| 未収入金 | 0 | 積立金 | 6,000,000 |
| 立替金 | 200,000 | 運営基金 | 6,000,000 |
| 固定資産 | | 余剰金 | 1,192,927 |
| 敷金 | 0 | 固定資産 | 0 |
| | | 本年度余剰金 | 1,192,927 |
| | | 正味資産計 | 7,192,927 |
| 合計 | 7,192,927 | 合計 | 7,192,927 |

財産目録

平成 20 年 3 月 31 日現在 単位: 円

| 摘要 | 金額 |
|----------------------------|-----------|
| (資産の部) | |
| 流動資産 | |
| 普通預金 (しずおか信用金庫 No.1009195) | 433,155 |
| (// No.151796) | 1,007,231 |
| (// No.195831) | 552,541 |
| (郵便局 No.56867) | 0 |
| (// No.105137) | 0 |
| 定期預金 (しずおか信用金庫 No.482961) | 3,000,000 |
| 定期預金 (しずおか信用金庫 No.482979) | 2,000,000 |
| 未収入金 (平成 19 年度終身会費) | |
| 立替金 | 200,000 |
| 固定資産 | |
| 敷金 (本部事務所) | 0 |
| | 資産の部合計 |
| | 7,192,927 |
| (負債の部) | |
| 流動負債 | |
| 未払金 | |
| | 負債の部合計 |
| | 0 |
| | 差引正味財産 |
| | 7,192,927 |

平成 20 年度予算案

期間 平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日 単位: 円

| | 勘定科目 | 予算額 | 前年度予算額 | 増減 | 摘要 |
|----------|--------|-----------|------------|------------|----------------------|
| 収 | 終身会費 | 8,000,000 | 8,000,000 | 0 | 新入生 350 名, 既存会員 50 名 |
| | 預金利息 | 4,000 | 4,000 | 0 | |
| | 名簿売上 | 0 | 60,000 | -60,000 | |
| | 総会収入 | 0 | 300,000 | -300,000 | |
| | 法科支援協会 | 204,000 | 204,000 | 0 | 人件費 |
| | 運営基金取崩 | 0 | 2,000,000 | -2,000,000 | |
| | 小計 | 8,208,000 | 10,568,000 | -2,360,000 | |
| | 前期繰越金 | 787,303 | 1,035,644 | -248,341 | |
| | 合計 | 8,995,303 | 11,603,644 | -2,608,341 | |
| | 支 | 総会費 | 0 | 500,000 | -500,000 |
| 会議費 | | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| 交通費 | | 400,000 | 400,000 | 0 | |
| 印刷費 | | 1,500,000 | 2,300,000 | -800,000 | 「岳」発行, 宛名シール |
| 通信費 | | 800,000 | 1,500,000 | -700,000 | 「岳」郵送料 |
| 名簿諸費 | | 900,000 | 1,000,000 | -100,000 | 学生名簿送付, 終身会費登録 |
| 支部補助費 | | 2,000,000 | 2,300,000 | -300,000 | |
| 大学関係費 | | 1,150,000 | 1,150,000 | 0 | 研究補助費 25 万, 奨学金 90 万 |
| 小集団活動補助金 | | 200,000 | 200,000 | 0 | |
| 全学同窓会 | | 0 | 0 | 0 | |
| 同窓会運営基金 | | 0 | 0 | 0 | |
| 事務所費 | | 1,700,000 | 1,800,000 | -100,000 | |
| 法科支援業務費 | | 102,000 | 0 | 102,000 | 人件費 |
| 諸支 | | 60,000 | 50,000 | 10,000 | 5 支部 × 1 万, 旧制静岡 |
| 小計 | | 8,912,000 | 11,300,000 | -2,388,000 | |
| 次期繰越金 | | 83,303 | 303,644 | -220,341 | |
| 合計 | | 8,995,303 | 11,603,644 | -2,608,341 | |

※科目間の流用を認める

今本恒雄氏

「文部科学大臣表彰 科学技術賞」受賞

文理 15 物理 外池光雄



千葉大学大学院理学研究科を今年 3 月に定年退職されたばかりの今本恒雄氏 (千葉大学名誉教授、現在、同大学グランドフェロー) が、この度、平成 20 年 4 月 15 日、めでたく「文部科学大臣表彰

科学技術賞」を受賞されました。

そこで、今本氏と同窓の静岡大学文理学部 38 年度入学理科の会、有志一同が千葉市に合い集い 6 月 7 日 (土) 京成千葉中央駅前の京成ホテル、ミラマールにおいて受賞記念祝賀会を開催することになりました。この受賞記念祝賀会は、同じ千葉大学の外池と、東京歯科大学の小澤が呼びかけ発起人となり、東京近辺、及び静岡近辺の同窓生に呼びかけて行われました。実は、静大 38 年度入学理科の会は、その 2 ヶ月前の 4 月 4 日に、久しぶりの同窓会を静岡で開催したばかりでしたので、祝賀会の日をもう少し後にずらして行う案もありましたが、やはり、このようなめでたい受賞の記念の会は、余り時期をずらして行うより、受賞のお祝いの時に行うのが良いとの判断のもとに祝賀会の日程が決まりました。

このように、4 月から同窓会が連続していたにも関わらず、遠路、静岡から駆けつけてくれた山口茂氏や、片山誠二氏をはじめ、総計 13 人の同級生がカンパの記念品代を呼びかけ人幹事に送って頂き、大変有意義な祝賀会になりました。出席して頂いた方、記念品代のカンパを送って頂いた方、並びに多くの祝福を頂いた同窓生の皆さんに、ここに紙面を借りて厚く御礼を申し上げます。

今本恒雄氏は、昭和 42 年静岡大学文理学部理学科化学専攻卒業で、卒業後も一貫して有機化学の研究の道を切り開いて来られました。この度の文部大臣表彰 科学技術賞の受賞は、「触媒的不斉合成に有用な光学活性ホスフィン配位子の開発」の業績に対して与えられたものです。これは、今本氏がこの研究によって、リン原子上に不斉中心をもつ配位子 (P-キラルホスフィン配位子) の実用的合成法

を世界に先駆けて開発したこと、また、それらの配位子がほぼ完璧な立体選択性を発現することを実証するなどの不斉触媒反応に関する独創的研究が認められたことによるものです。この研究で開発された P-キラルホスフィン配位子が配位した遷移金属錯体は、医薬品などに用いられる種々の光学活性化合物を安価な原料によって効率的に製造するために必要な不斉触媒としてこれから一層、広く利用されることが期待されています。このように、本研究は、実用面における有用性のみならず、不斉合成化学の基礎分野の発展にも大きく貢献するものです。

祝賀の会は、開会の後、発起人を代表して外池光雄が祝辞の挨拶を行い、その後、同窓生代表で山口茂氏から花束贈呈、同じく発起人幹事の片山誠二から記念品の贈呈が行われました。引き続き、今本恒雄氏から受賞の挨拶を頂き、皆で「受賞おめでとう」を唱和して乾杯が行われました。その後、今本氏から、受賞に至った経緯、静大卒業後の若い頃の研究生生活の苦労話や、千葉大学で研究に励んだ日々のこと、静大時代の思い出話などが語られ、懐かしい思い出の歓談にいつまでも話がつきませんでした。

あっと言う間に時間が過ぎてしまった楽しい祝賀会でしたが、今本氏から、この度表彰された賞状や、記念の楯などを見せていただき、改めて、このような優秀な同窓生を友人に持った幸せとともに、静大同窓生としての誇りを感じることができました。

今本恒雄氏には、今後も健康には十分に留意され、大学退職後も、なお一層、益々の研究のご活躍をお祈り申し上げます。大変ささやかな「38 年入学理科の会」ではありましたが、同窓生による文部大臣表彰記念祝賀会の報告と致します。

平成 20 年 6 月 7 日
 (静大文理学部 38 年入学理科の会有志一同)

今本氏のことは、6 月 30 日付け静岡新聞朝刊 (4 面) でも紹介されました。

奨学金制度のためのご寄附のお願い

2006 年度に、卒業生からの寄附金を原資として、人文学部および大学院人文社会科学研究科独自の奨学金制度を創設して、今年度で 3 年目になります。初年度には、同窓会の皆様にも寄附をお願いし、奨学金制度のスタートに協力を頂きましたこと、改めてお礼申し上げます。

本奨学金制度により、毎年、経済的困難を抱えながらも学業成績優秀で勉学に励んでいる 2 年次学生 2 名、学業成績が優秀で向学心旺盛な 3 年次 2 名および大学院生 1 名の合計 5 名を公募・選考し、一人当たり 20 万円を給付しています。掲載の写真は、授与式後の学生たちとの懇談会では、「奨学金給付を有効に生かして、勉学に一層励み、奨学金制度設立の趣旨の関係者の皆さんの期待に応えたい。」という、前向きな声を聞くことができました。

私どもとしましては、学生達からたいへん喜ばれ、かつ勉学の奨励に大きく寄与している、この奨学金制度をできるだけ長期にわたって存続・維持させたいと願っています。

つきましては、同窓会誌『岳』の紙面をお借りし、奨学金制度の趣旨をご理解いただいた上でご寄附をお願いする次第です。本学部及び本大学院の学生に対する教育上のご支援を心よりお願い申し上げます。

2008 年 7 月
 静岡大学人文学部長・大学院人文社会科学研究科長 浅利 一郎

寄附要綱

- 寄附の趣旨
 人文学部及び大学院人文社会科学研究科の学生の奨学金のため
- 寄附金募集の目標
 2016 年までに、1,000 万円
- 寄附の方法
 1 口 5,000 円とし、できるだけ多くのご協力をお願いします。
 同封の郵便振替用紙にて必要事項をご記入の上、お振り込みください。
- この寄附金は、所得税法上の寄附金控除の対象となります。

* 問い合わせ先
 静岡大学人文学部総務係
 Tel 054-238-4483
 Fax 054-237-3612

平成20年度 静岡支部総会 開かれる!! 5月31日(土) 於 東海軒会館 “新支部長に 木俣晃さん(文理12回)”



出席者約50名。来賓浅利人文学部長、藤木文理人文同窓会会長、福岡東京支部長、阿部浜松支部長、水野東海支部副支部長、理学部同窓会及び浜松工業会の代表。

石神政一支部長挨拶

「来年は、静岡大学発足60周年を迎える。地域が大学に求める知的財産の還元、大学と地域が一体となって活動していく『社会連携活動』が大事。その方向に行っている。」

藤木会長挨拶 「全学同窓会のネットワーク化、活性化を図っていきたい。」

19年度事業報告及び会計報告、20年度事業計画及び予算承認。

役員改選 4期8年努められた石神政一さんが退任され、木俣晃さんが選任された。

その後、浅利一郎先生の講演が行われた。

懇親会の席上、木俣新支部長挨拶 「総会の出席者に、人文の卒業生少ない。人文の卒業生にたくさん役員になってもらった。人文の人たちにたくさん集まってもらえるように活動していきたい。」また、法科大学院田中先生から「司法試験に17名受験した。最終的にどれだけ合格できるか、期待している。」との話があった。

◎ 浅利一郎先生 講演「21世紀の静岡県長期戦略」

＜要旨＞

＜人口減少 日本の将来人口＞

2005年 12,777万人から、2030年 11,522万人と約10%減る。

2055年 8,993万人約30%減る。

静岡県の将来人口 2000年 377万人、2030年 334万人と11%減、2050年 266万人と32%減る。静岡県も全国平均並みに減る。2050年までに、ほぼ半減する県は、青森、岩手、秋田、山形、福島、新

潟、奈良、和歌山、山口、徳島、高知、熊本、宮城、鹿児島。それほど人口減少しない県は、東京、神奈川、千葉、愛知、滋賀、沖縄(出生率高い。)

人口減少・少子高齢化の経済的影響は、国内消費市場の縮小、労働力の減少、国内経済・地域経済の縮小につながる。手をこまねいていたら、地域社会が崩壊、社会諸制度が崩壊する。地域社会の崩壊は、医療の崩壊と教育(特に高等教育)の崩壊から始まる。静岡大学は、地域の大学として生きていく必要がある。

＜静岡県経済のグローバル化＞

外への国際化 平成19年4月1日現在 県内企業の海外展開事業所総数

1,264事業所。アジア65%。

内なる国際化 外資系企業(外資比率50%以上)立地件数 平成元年から17年までの累計 20件で全国1位。

外国人人口 人口10万人当たり、1,865人(2005年 全国4位)

＜静岡県の長期戦略＞

これからは、アジアとの交流を担う人材をどれだけ育てられるかが、地域や企業の浮沈をにぎることになる。

県内企業の国際展開に必要な人材として、アジアの活力を取り込むという観点から、アジアからの留学生に注目している。自国の言語とともに、英語と日本語に習熟し、かつ、経済・経営の専門知識能力と日本の企業文化や経営思想を学んだ人材の育成と活用は、これからの静岡県企業の国際展開にとって欠くことは、できない。

グローバルスタンダードが大学にも及んできている。大学は、国際通用性が求められる。ここに、静岡大学が生きていくヒントがある。

(人文3回法 三島文夫)

第27回東京支部総会

文理7回法 福岡 厚 東京支部長



第27回東京支部総会は6月13日(金)午後6時からアルカディア市ヶ谷(私学会館)において開催された。東京ステーションホテルから移って三回目となる当施設は、ロビーから皇居外堀を望む落ち着いた雰囲気の会場である。参加者は文理19、工進3、人文5、計27人、前回29人を下回る最少記録となった。当初の申込みは32人、うち人文出身者9人、東京支部としては予想を上回る人数に大いに期待していたところ、欠席者が多く出て聊か寂しい幕開けとなった。

第一部の司会は副支部長の伊藤英敏君(文理13法)。支部長挨拶後、議長に森本康男君(文理9法)を選出し議事に入る。

1号議案 2007年度事業報告及び2008年度事業計画案、2号議案 2007年度会計報告及び2008年度予算案を承認。3号議案として「静岡大学文理・人文学部同窓会東京支部会則」を提案、承認を受ける。これまで東京支部には会則がなく、支部活動は何らかのボランティアを中心に運営されてきたと

ころ、御多分に洩れず高齢化により行動力が鈍化、年々会合の参加者が減少し、その若返りが急務とされてきた。今回会則を制定することにより役員の任期を定める等責任体制を明確にして活性化を図り、速やかに人文学部出身者にパトタッチすべく提案したものである。

議事を終え、来賓の御挨拶を頂く。

先ず浅利一郎人文学部長。特別行政法人となって四年を経過、これからはそれが評価される時期である。大学のビジョンとして「自由啓発・未来創成」を基本理念とし、新しい目標に向けて様々な工夫を凝らしていると語られる。次いで藤木紀男同窓会長は新会長としての抱負と決意を述べられる。酒井堅次旧制静岡高等学校幹事からは盛況だった昨年6月の85周年記念大会に続き、再来年の88回大会に向けて着々体制を整えているところであり、一層の御協力を頂きたい旨のお話があった。

第二部懇親会の司会は佐藤吉元君(人文3

経)。乾杯の発声は佐藤君の呼びかけに長野から駆けつけた三島利徳君(信濃毎日新聞論説委員・人文2史)。これからは毎年参加したいと心強い発言である。来賓祝辞のトップは金森誠也先生。欠かさず御出席くださり、いつも温かいエールを送られる。その上毎年新しく出版された著書を御寄贈くださる。今年は『心に突き刺さるショーペンハウアーの言葉』(PHP研究所)を頂く。

暫し歓談の後、各支部の来賓の紹介。阿部治彦浜松支部長、杉浦雅樹東海支部長、岩本平閑西支部長、浜松工業会山中邦敬東京副支部長から夫々の支部の状況が報告される。次いで登場の田辺郁子さん。今日は昔の茂木さ

んに返って懐かしい皆様に会えたことをとても嬉しく思いますとの御挨拶に大きな拍手が湧く。また特別ゲストとして故井上隆道兄のお嬢さん門司梨佳さんが紹介され温かい拍手に包まれる。最後に登場したのは同窓生中紅一点目つ最年少の長田小百合さん(人文38社)。やや戸惑いながら初参加の感想を述べられる。

佐藤君のきめ細かい司会ぶりに大いに盛り上がる中、時間は瞬く間に過ぎ、最後は恒例の寮歌斉唱。代表寮歌「地のさざめごと」を唱和し午後8時30分散会した。来年は新人事体制の下、是非多数の方々、特に若い人たちの参加を切望する。

東京支部会員の近況

6月13日の総会への出欠回答葉書に書かれていた東京支部会員の近況(順不同)

名取金昭 文理2経

ヨーロッパ旅行準備のため出席できません。盛会を祈ります。

関本和男 文理2経

家内が脳出血後遺症のため要介護3、身体障害2級で寝たきりとなり介護専念です。

辻 庸良 文理3経

五十余年使い慣れた健康保険証に別れを告げさせられ、4月1日より強制的に後期高齢者医療制度に組み替えられました。後期の次は何であるうか?まだ手抜きをしながら働いています。

児玉英二 文理13物

同窓会基軸の若返り、今後の若々しい展開、ますますの発展を祈ります。

原川武彦 文理6法

まだまだ老いることは出来ず、ウォーキングをしながらメタボな身体を改善しようと心がけております。

十束志郎 1医進

ただ今は介護福祉士養成のために働いております。(現在山形短期大学教授)

和田八束 文理4経

人文の世代へのシフトを進めて下さい。人事(幹事・代表など)や会のプログラム(会の企画・進行等)を人文主体に移すことです。若返り、世代交代が必要です。

上原信博 元学長

生地東京に戻ってから3年になりますが病状の回復が思うようにはかどりません。そのような次第で昨年に続き折角のお招きを受けながら出席できませんことをお許し下さい。御盛会を祈ります。

戸崎延子 文理4経

夫(文理1経)が心不全で入院、看護の毎日です。富士の裾野、十里木の山荘に行きたいといっています。「山芍薬残り時間を夫の言ふ」延子

多家 正 文理4経

9月脳梗塞発症、目下服薬リハビリを続けていますので参加不可です。

澤木理人 文理10法

来年は古希、まだ現役で頑張っています。週3回卓球も続けています。

近藤正巳 文理3法

いつも6月第1週の日曜日の今年も早くから妻のショートステイ予約を入れていました。1週間ずれて残念ながら出席できません。諸兄姉によく。

佐藤吉元 人文3経

昨年12月に還暦となりました。セカンドステージに向けて同学年の皆さんの思いを伺ってみたいと今年の同窓会に御参集の御願いをしました。誰々が来て下さるか、期待と不安です。

水谷 弘 文理4物

現在地球温暖化に対処するため、現在の電気料金より安い新しい太陽光電池を発案し、開発を進めています。(現東北学院大学名誉教授)

井村謙一 人文8経

大動脈瘤の手術を受けてからもう2年3月経ちました。手術跡が季節の変わり目に痛みま

すが週2~3回はプールで水中歩行のリハビリを行っております。最近はゴルフを再開しようとして練習を始めました。元気を取り戻しました。

中溝 浩 文理8経

毎年4月には千鳥ヶ淵で同級生4~5名のお花見をしています。

房野昭一 文理13経

退職して2年近くになりますが、今秋(11月)の穆察会(旧仰秀寮)の東京開催の準備を進めています。都合をつけて新宿の同窓会事務局にもお邪魔したいと思っています。

堀江析而 文理4経

(旧制同窓会)の土屋公献会長に“東大法科が癌だ”といったら東大出の7割は悪いことをやっているという答えが返ってきた。これが日本の現実です。打開策は地方分権、道州制であり市民革命の推進です。パソコン堀江のHPを更新しましたのでぜひ見てください。<http://www.2ttcn.nejp/p-horie/>

三島利徳 人文2史

東京同窓会に参加させていただくのは初めてです。参集の呼びかけ人にさせてもらったこともあり勇躍参加します。新聞社(信濃毎日新聞)は定年となりましたが囑託で論説委員をさせてもらっています。

池谷清彦 文理8経

昨年8月凸版印刷との業務契約を満了後、旅・ゴルフ・読書・音楽会・サイクリング等を楽しんでいます。今年はいまのところギリシャ・北海道の流氷・北欧4ヶ国の旅を楽しみました。まだ元気のうちは海外の見聞を広めたいと思っています。

福岡厚 文理7法

3月28日池田順次、遠藤栄、石井和子の諸先輩と東所沢の病院に山下太郎先生をお見舞いしました。先生は車椅子生活ながらお元気で1時間ほどお話を拝聴しました。5月10日桑名市照源寺の井上隆道さん3回忌に参加、故人を偲びました。地元都立大学の学習も7年目、日本古代史のゼミに出席。“日々新たに”の気分です。

三神哲也 文理3法

毎年5月に同期有志東京の集まりをしています。今年は横浜港近くの東天紅、20名参加でいつもながらの盛会。この勢いで支部の総会を・・・。

田邊郁子 仰秀寮事務

庭の富士薔薇も散りました。今青空が輝いて美しい限りです。今年は何とか出席して、懐かしい皆様にお会いすることが出来ることを何よりも楽しみにしています。

土橋宏 文理3法

腰痛持ち、しかし元気です。現在地域の環境対策に取り組みながら、英会話に励んでいます。

金子雅臣 文理15法

後期高齢者の汚名をハネ返すべく元気にそして賑やかにやってください。

大石恵美子 文理4化

もともと好きでした英語を勉強して元気に日々を過ごしております。

小幡誠宣 人文2法

定年により県職員を退職し自営業での再スタートをしたところです。

38年度「理科の会」開く

芙蓉荘（大岩本町）で

人文1回外史 山口 茂



理科生らしい一コマ

去る4月4日（金）、昭和38年入学の理科学生20名が思い出の地、静大文理学部跡地（現城北公園）にほど近い同宿泊所につどった。住所のわかっている者は42名だから、かなりの参加である（他に2名が参加を予定していたが、急用でこれず）。錦織（島根県）、松原（仙台市）など、うち8名は遠方からかけつけてくれた。

本年、国公立大の教官をしている者のうち3名が定年をむかえた。ひとつの区切りの年でもあるので、記念文集をつくり、参加できなかった人にも、後日郵送した。

さて宴会は5時半からとなっていたが、気もそぞろに3時ごろには10名余りが集い、思い出ばなしにうち興じた。

宴もたけなわとなり、各自が近況を報告、第一線をしりぞき、

第二の職場でふんばっている者、農業に手をそめている者、これから大学生を相手に寺子屋をひらくのだと抱負をかたる者、まだまだ現役でがんばっている者とさまざまである。みな年を忘れ、20才の昔そのまゝに目を輝かせながら、談笑に時のたつのを忘れた。

宴会は、8時までとなっていたので、その後つれだって近くの「山小舎」などの呑み屋に席をうつした。

翌朝、2年後の再会を約して散会した。なお会費は、宿泊費をふくめ、呑み放題で8,000円でおさまった。

参加者

赤堀、内田、小倉、小沢（邦）、小沢（誠）、片山、加藤、酒井、伊達、中田、錦織、長谷川、早崎、古尾谷、松原、松山、山口、山田（真）、山本、吉岡



ロビーでくつろぐ

静岡大学人文学部教授 浜渦辰二先生が平成20年3月末に本学を退職され、4月1日に、大阪大学大学院文学研究科教授に就任されました。

人文4回哲 松田 純

浜渦先生は静岡大学人文学部に17年にわたって勤務され、この間、研究・教育、地域連携活動および大学の管理・運営の各分野で活躍されました。本学は先生の教育および学術上の顕著な功績を本学の誇りと考え、このたび静岡大学名誉教授の称号を授与することと致しました。

浜渦先生は、昭和51年3月静岡大学人文学部人文学科哲学専攻を卒業されたのち、九州大学大学院文学研究科に進まれ、昭和55年3月同研究科修士課程を修了し、さらに昭和59年3月に同博士課程を単位修得退学の後、昭和59年10月から昭和61年3月までドイツ学術交流会（DAAD）奨学生としてドイツのケルン大学およびヴッパータール大学でおもに現象学の研究に専念されました。帰国後、平成元年10月より九州大学文学部に助手として勤務されたのち、平成3年に静岡大学人文学部に助教授として着任されました。教育の傍ら、これまでのフッサール研究を学位論文『フッサール間主観性の現象学』にまとめられ、平成7年3月に九州大学より博士（文学）の学位を授与されました。学位論文は同年創文社より352頁の大作として刊行されました。翌平成8年4月に教授に昇任されました。

先生のフッサール現象学の研究、なかでも他者論や間主観性についての研究は学界において高く評価されており、わが国におけるフッサール研究の指針となっています。また、フッサール晩年の重要な著作『デカルト的省察』の翻訳（岩波文庫、平成13年）は、日本語として読みやすい訳として定評があり、現在第6刷まで重ね、これもフッサール研究に不可欠の書となっています。

またわが国におけるフッサール研究の組織化にも主導的な役割を果たされ、科学研究費（平成6-9年）の交付を受け、フッサール・データベースを構築し、インターネットで検索結果を公開致しました。このデータベース

は現在でも世界21カ国93のサイト、国内40のサイトからリンクが張られて利用され、国際的な研究ネットワークのなかで重要な発信を続けています。

その後も、つぎつぎと研究プロジェクトを展開され、フッサール研究国際会議 in Japan を4回開催し、その記録を『フッサール研究』（創刊号～第3号）として刊行し、日本のフッサール研究を国際レベルのなかで展開することに貢献されました。

また、環境問題や、精神医療、心理臨床、看護・福祉などのヒューマン・ケア、生命倫理などの現代的な課題にも取り組み、共著『脱・環境ホルモン社会』（三学出版、平成14年）、編著『〈ケアの人間学〉入門』（知泉書館、平成17年）、科学研究費によるプロジェクト（平成17-19年度）の研究結果報告書「対人援助（心理臨床・ヒューマンケア）の倫理と法、その理論と教育プログラム開発」3冊、『ケアの人間学合同研究会要旨集』（No.1-No.5）などを刊行してこられました。人文社会科学研究科では平成15年新設の臨床人間科学専攻の教授として、おもにヒューマン・ケア分野の専門職の教育に携わってこられました。

本年4月からの新しい所属は大阪大学大学院文学研究科の臨床哲学講座の教授です。この講座は鷲田清一氏（現大阪大学総長）らの呼びかけにより1998年に設置され、さまざまな現代的な諸問題を、問題が発生する現場で考えるという、新しいスタイルの哲学研究として全国的に注目されています。2007年に鷲田先生が大阪大学総長となられ、空席となった重要なポジションを担う人材として浜渦先生が実質的な後任として着任されました。浜渦先生の今後のますますのご活躍を同窓会として祈念致します。

小田先生の長寿を祝う会

文理14回法 清水生雄



スポーツとはおよそ無縁の先生が長寿でお元気なのは、いつもお腹の底から声を出されていたからと思われませんが、流石に1時間の散歩はお疲れになったようでした。ところが「芙蓉荘」の会議室で午後5時から久しぶりに先生の講義を聞くことになり、「テンペスト」の一部を講義された時は、朗々と声を張り上げて私たちの大学時代の先生と少しも変わらず皆を感じさせました。

午後6時からは別室に移動して懇親会となり、まず最年長の川崎さん（文理12回）が先生の長寿をお祝いする言葉と先生から受けた教養が今も心の中に生きていてという話をされ、続いて先生が謝辞を述べられました。

次いでやむをえず出席できなかった内田さん（文理13回）が御自身で録音した宮崎東明の「長寿の詞」の詩吟のテープが披露され、菅ヶ谷さん（文理14回）から先生への記念品目録の贈呈が行われました。

そして前島さん（文理13回）の乾杯の音頭により歓談となり、先生を囲んでのグループ、同級生同士のグループなどいくつかのグループができて楽しい語らいがあり、その間に出席者全員の寄せ書きもされました。また参加できなかった方々の寄せ書きもあり中央に先生にシェイクスピアの名句を書いて頂いて、全員にコピーを配るとともに原本は奥様の仏前に供えてあります。

午後8時30分、全員で記念撮影をして懇親会は終了しましたが、和室の大部屋へ移り、宿泊する方も、先生をはじめ当日帰る方も合わせて十数人が残って思い出話は続き、午後10時30分ごろ、5年後の再会を約して散会となりました。

残暑なお厳しい平成19年9月16日（日）、静岡市葵区大岩本町の警察共済組合宿泊所「芙蓉荘」におきまして、大学時代シェイクスピア劇を上演した仲間たちの26人が参加して、「小田先生を祝う会」が開催されました。

小田先生は昭和37年の4月、私たち（文理14回）の入学の年に信州大学から静岡大学へ赴任され、教養科目としての英語の講義と英文科の学生を中心としたグループにシェイクスピアの「真夏の夜の夢」の講読の指導をされておりました。情熱を込めて大きな声で講義され、隣の教室まで声が聞こえたとの伝説もあり、「真夏の夜の夢」上演が決まってからは大岩のキャンパスで所狭しと発音練習の指導をされておりました。のちに静岡女子大学に移りましたが、女子大でも退官後も劇指導を続け、ご自身も役者を務められたようです。

さて祝う会の当日ですが、午後4時に旧大岩キャンパス（現静岡市立中央図書館と城北公園）の正門前を出発して、約1時間かけ旧キャンパス周辺を散歩しました。県外在住者のなかには旧キャンパスがどうなっているのか知らなかった方も多く、かつてのキャンパスに思いを馳せつつ、思い出話に花を咲かせながらの散歩となりました。

本多隆成先生を送る

人文4回社会 湯之上 隆

本多先生は、昭和17年12月9日大阪市に生まれ、44年3月大阪大学大学院文学研究科博士課程史学専攻を単位取得退学されました。

44年4月静岡大学講師として赴任、51年4月助教授、62年7月教授、平成16年4月国立大学法人静岡大学教授を歴任、20年3月定年により退職されました。

学術研究の面においては、日本中世史、戦国史、近世史を主たる研究領域とし、とりわけ一貫して追究してきた研究テーマは、中世から近世への移行過程の権力形成過程における政治経済基盤、特に検地と貢租に関わる分析です。研究方法は、先行研究の徹底した理解と批判、博搜した史料の手堅い実証にもとづくという、学界の高い評価を得ています。

平成元年1月11日、大阪大学より、学位申請論文「東海地域における近世初期社会の基礎構造」に対して文学博士の学位を授与されました。主な著書は、『近世初期社会の基礎構造—東海地域における検証—』（吉川弘文館、昭和64年）、『初期徳川氏の農村支配』（吉川弘文館、平成18年）、『近世東海地域史研究』（清文堂、平成20年）です。その他、『大谷探検隊と本多忠隆』（平凡社、平成6

年）は、大谷探検隊に参加した祖父忠隆に関する新資料を素材としながら、大谷探検隊の実態について検討されたものです。

教育においては、日本史学研究室が長く実施してきた古文書調査を領導し、毎年11月大学祭期間中の古文書展では、調査・展示・パンフレット作成等の全過程にわたり、学生を指導し優れた成果をあげられました。

静岡大学に奉職する者として、地域に目を向けた調査と研究を積極的に推進されました。その成果として、袋井市史をはじめ、静岡県史・金谷町史の編纂に関わり、さらに豊岡村史・森町史・浅羽町史・焼津市史では編集責任者として、地域の歴史文化の向上に尽力されました。

また、昭和56年に発足した静岡県地域史研究会の代表幹事を長くつとめ、静岡県近代史研究の水準を高めることに傾注されたことも特筆すべき業績です。

大学の管理・運営の面では、人文学部長・評議員・学生部長・留学生センター長など数々の要職・委員を歴任し、静岡大学と人文学部の発展に多大の貢献をされました。

高橋洋児先生

経済学科教授 安藤研一

人文学部夜間主コースの前身ともいえる法経短期大学部時代を含め、34年の長きにわたり本学に奉職されてきた高橋洋児先生は、2008年3月末をもって静岡大学を定年退職

されました。高橋先生は、人類の経済活動における人間同士の関係が、資本主義経済では商品交換が基盤となることを通じて、モノ（の所有者）

とモノ（の所有者）の関係として認識されるという転倒した状況、所謂「物神性」の問題を基軸に研究を進められてきました。高橋先生の研究姿勢は、狭い抽象理論の枠に留まることなく、ご自身の理論的視角から現実世界の諸問題にも切り込むものです。そうした研究の成果は、専門雑誌などでの論文から、学術的理論書、より一般的な読者を想定した書物にまで多岐にわたり発表されています。学術的専門書の代表的著作としては、『物神性の解説—資本主義にとって人間とは何か（新装版）』勤草書房（1997年）、『現代社会論の基本視座、疎外論パラダイムを脱却して』御茶ノ水書房（2003年）などがあり、一般読者であっても高橋先生の主張が理解しやすいものとしては、『市場システムを越えて、現代日本人のための「世直し」原論』中央公論社（1996年）、『マルクスを「活用」する！』彩流社（2008年）などが挙げられます。これらはいずれも2008年現在入手可能であり、本紙の読者である静岡大学の

同窓生には今一度大学時代を思い出すためにも手にすることが勧められます。

高橋先生の情熱は、研究と並び教育面でも発揮されていました。法経短期大学時代には、社会人教育にその心血を注がれ、大学の改組に伴い人文学部に移られてからは、通常の講義は勿論、演習でも多くの学生の指導に当たられました。定年を間近に控えられた2006年度には、昨今の「ソブリン・ファンド」問題の先駆けともいえる「イスラム金融」問題を演習の研究テーマとして取り上げられ、その現実感覚の鋭さ、先見性を示されました。

2008年4月、高橋先生はこれまでの研究教育の貢献により、静岡大学の名誉教授となりました。しかし、そのような肩書とは関係なく、退職後も衰えることのない情熱をもって研究をつづけられておられます。今後、同窓生諸氏のみならず、在校生、教員も、直接間接に高橋先生の教えをうけられるものと期待しております。

“やろう会”奥方同伴親睦旅行

文理12回法 山貝紀男



叡山延暦寺へ、根本中堂で法話を聴講、不滅の法灯も拝し、紅葉の奥比叡を車窓より眺め、一路、天下の名湯、有馬温泉へ。

ゆっくり温泉につかったあとの宴会では、それぞれの近況、夫婦の想い等を報告し合いカラオケで盛り上がり、はては、ノー工節の大合唱ありで、夜もふけるまで楽しい一夜を過ごしました。

翌日は、ロープウェイで六甲山頂へ。快晴にも恵まれて、山頂からの眺望もすばらしく、皆で歓声を上げました。展望レストランでランチのあと、ケーブルカーで神戸市内に下り新神戸駅で来年の再会を約して別れました。

まだまだ現役で頑張っている者もいますし、全員元気でこの会を大切に続けていきたいと思っています。

やろう会メンバー（文理12回卒）
愛野明宣、遠藤育宏、加藤文夫、鈴木健夫、日比野良一、矢野正彦、山貝紀男



文理第12回卒、昭和39年、東京オリンピックの年、社会に飛び出した青年8人。静大学生時代、縁あって出会いがあった若者が、数年後再会。“八郎会”と命名、定期的に集まり、旧交を温めてきました。そして、家族ぐるみの付き合いに発展。その後、子供達も大きくなり中断の時期もありましたが、近年は、残念ながら1名欠けましたが、会の名前を“やろう会”に変え、男だけ7名で毎年集まり、飲みかつ語り合い、又、マージャン、囲碁と楽しい1泊旅行をしてきました。

今年は、小生が幹事役を仰せつかり、本当に久しぶりに（20数年ぶり）奥方同伴の会を呼びかけたところ、大変うれしいことに全員参加してくれることになり、11月16日（金）、17日（土）、晩秋の比叡山、兵庫有馬温泉、1泊旅行に行つて来ました。

奥方同士も、20数年ぶりの再会でしたが、会ったとたん、当時にタイムスリップ、長いブランクもまったく感じずに、再会を喜び合いました。

京都駅で集合、マイクロバスで比

全国各地で上映、多くの人々に感動 鈴木安蔵の映画「日本の青空」

文理9回法 上田克巳

日本国憲法の間接的起草者としてマスコミ等でも紹介された元静岡大学教授鈴木安蔵（憲法学・昭和26年から42年）を主人公とした映画「日本の青空」の上映会が昨年春より静岡県内、全国各地で行われました。

この間、映画「日本の青空」の製作・上映を支援する静岡の会（代表・佐藤博明静岡元学長）として、本「岳」46号・47号で協力・支援のお願いと報告をさせていただきました。映画の製作支援には静岡同窓生より多くの協力が寄せられ、全国各地の上映会では静岡卒の皆さんの尽力が伝えられています。「支援する静岡の会」は一応任務を終えて昨12月に“ご苦労さん会”を行いました。

以下、上映会の状況について報告し、皆さまの協力に改めて感謝いたします。

<静岡県内で21会場1万5千名が鑑賞>

完成披露有料試写会

| | | | |
|-----------|----|------------|------|
| 2007.3.27 | 中部 | 静岡市民文化会館 | 995名 |
| 4.20 | 西部 | 浜松市クリエート浜松 | 174名 |
| 4.27 | 東部 | 三島市民文化会館 | 160名 |

上映会

| | | | |
|------|-----------|--------------|--------|
| 2007 | ☆ 5/11（金） | 藤枝市生涯学習センター | 853名 |
| | ☆ 7/16（祝） | 沼津市民文化センター | 678名 |
| | ☆ 8/17（金） | 浜松市浜北文化センター | 561名 |
| | ☆ 8/18（土） | 伊東市 ひぐらし会館 | 364名 |
| | ☆ 8/19（日） | 御殿場市 玉穂報徳会館 | 219名 |
| | ☆ 8/25（土） | 静岡市清水文化センター | 675名 |
| | ☆ 8/11~24 | 静岡市サールナートホール | 2,285名 |
| | ☆ 9/ 1（土） | 浜松市福祉交流センター | 1,055名 |
| | ☆ 9/14（金） | 富士市ラ・ホール富士 | 478名 |
| | ☆ 9/15（土） | 浜松市天竜壬生ホール | 311名 |
| | ☆ 9/29（土） | 掛川市生涯学習センター | 1,020名 |
| | ☆10/19（金） | 裾野市民文化センター | 504名 |
| | ☆10/21（日） | 富士宮市民文化会館 | 956名 |
| | ☆11/ 3（土） | 浜松市雄踏文化センター | 446名 |
| | ☆11/17（土） | 伊豆の国市大仁市民会館 | 478名 |
| | ☆11/29（木） | 静岡大学浜松キャンパス | 113名 |
| | ☆12/ 6（木） | 焼津市文化センター | 665名 |
| | ☆12/ 7（金） | 下田市民文化会館 | 270名 |

今年に入って静岡大学大会館（1/24、200名）、三島市民生涯学習センター（5/10の50名）、富士宮市民文化会館（5/16、260名）、島田市プラザおおるり（6/28）と上映会が続いています。

全国では北海道から沖縄までの各県で上映運動がすすみ、鑑賞者約40万人となっています。さらに、上映会を広げ、DVD等を利用しての少人数でも鑑賞できる工夫などで、引き続き「日本の青空」を1人でも多くの方々に、との努力が行われています。

<大勢の方が感動の涙を流され、多くの感想が寄せられました。>

○学校で学んだ以上の真実が詰まっていた憲法ができる点ばかりやすく描かれていたと思います。日本の憲法を学ぶとてもよい教材だと思いました。【9条の空白=青空】がとても印象的で感動しました。

（25歳・女性）

○私たちは事実をいかに間違っているかということを深く感じました。この映画のおかげで真実を知ることができてよかったです。昔、自分の国、日本のことを本当に真剣に考えていた日本人がいたことに感動しました。

（39歳・男）

○憲法がとても身近に感じられ、終わった後、何かが温かくなる映画でした。

○現代と同時並行での進行がとてもわかりやすく、身近な感じがしてよかったです。歴史的なことは立場が違えばと真実が曲げられ、または違う見方をしてしまうものです。いろんな意味で、多方面に真実を知る権利を私たちは持っていると思います。

（51歳・女性）

○とても充実した内容だったと思います。鈴木安蔵さんたちの強い思いが伝わってきました。戦争放棄、主権在民、女性の地位向上、国民の生存権。どれもずっと守っていかなければと強く思いました。

（62歳・女性）

○すばらしかった。憲法を作る為にこんなにも多くの人が苦勞されたことを知り、憲法を守ってゆかねばと強く思った。アメリカもまた、民主的な国を作るためにとても頑張ってくれていたとわかった。ベアテさんの涙に、また鈴木安蔵夫人の涙に感動した。最後のたくさんの支援者の名前にも感動した。こんなすばらしい憲法を日本人が作ったことに誇りを感じます。

○二度目の鑑賞ですが、観れば観るほどよくなった映画だと思います。「日本国憲法」への誇りを改めて感じ、鈴木安蔵先生のなしとげた仕事の大きさを思います。

（74歳・女性）

（以上）

“老いる”ということ —今年、愛犬リトルを見送って考えたこと—

文理12回経済 柴田秀夫

12月は1年の締めくくりの月。今年もいろいろな出来事があった。わが家での今年一番の出来事は、愛犬リトルがこの世を去ったことだった。リトルは17歳、人間の年齢に換算すると90歳になっていた。犬にとっては寿命が来たのかも知れないが、実際にいなくなってしまうと本当にさびしいものだ。

思い起こせばリトルは、17年前の初夏のある日、市が主催した「子犬交換会」でもらってきた犬だった。交換会は、子犬がたくさん生まれて困っている人と、子犬を飼いたいと思っている人とを市が仲介してくれる制度で、人気があった。子犬は無料で、もらった時には狂犬病の予防注射をしてくれるので、その注射代分を負担するだけでよかった。

その日、交換会があることを知った私と中学生だった（次女）の二人は、いい犬がいたら欲しいなと、思いながら会場へ出かけて

行った。すでに会場には、かわいらしい子犬たちがいっぱい柵の中に放されていた。次女はその中から、茶色の子犬を一目で気に入ったようで、その犬を抱き上げた。その犬は、私達が以前飼っていて、その前の年に亡くなった“チビ”と名づけた犬にそっくりだった。次女は抱き上げるとすぐにその犬に対して、何やら名前のようなもの呼んでいるようだった。どうやら“リトル”と呼んでいるらしい。次女が会場へ着く前から、自分なりに新しく飼う犬の名前を考えて、既に決めていたなんて……。

こうしてリトルはわが家の一員になった。リトルはわが家の3人の娘たちの良き仲間であり、忠実なわが家の“番犬”でもあった。私は好んで休日などの時間があるときは、リトルを山へ連れて行った。リトルといくと、何故か私も青春時代に戻っているかのような

感じになったのが不思議だった。

いつも元気でぐいぐい散歩の紐を引っ張ってくれていたリトルの体力が、ぐんと落ちたのは今年に入ってからだ。足が弱くなり、歩く速度が前に比べると遅くなった。散歩の途中で、がくと崩れそうになることがあった。全体的に身体中の筋肉が落ち、見るからにやせた老犬の姿に変わっていった。

亡くなる1ヵ月前には自力では歩けなくなった。私が身体を支えてやることでやっと立っていることができる状態だった。

そして亡くなる1週間前になると、手助けをしてやっても、もう立ち上がる気力は残っていなかった。そのころになると、老化による身体の一部の硬直化も始まった。特に頭の部分については、頭を右から左へ、左から右へと交互に移動させる必要があった。そうしないと首のところが硬直がすぐにでも起こりそうな感じがしたからだった。

亡くなる日の前日、いよいよ呼吸が苦しうになった。

「今夜あたりが最後かもしれない」
そう思った私は、市内に嫁いでいた次女に

連絡を取った。次女からはリトルの最後を看取りたいからその時は知らせて、と頼まれていたからだった。次女は1歳半の息子を連れてすぐにやって来た。私たちは苦しそうな表情のリトルの背中や頭を撫でてやっていた。それを見て、1歳半の次女の息子（私にとっては孫）も真似をして、リトルの頭を撫ぜ始めた。老犬の頭に置かれた小さな手。その手のみずみずしさは老犬の頭のうでで光り輝いているように見えた。死に向っている老犬と、まだ生まれて間もない孫の手との対比を見ながら、私は以前読んだことのあるコミックのストーリーを思い出していた。

それは貧しい若者と、お金持ちの老人の二人にまつわる話だった。貧しい若者はお金持ちの屋敷の前を通りながら、こんな金持ちになれたらどんな交換条件に応じてもいい、と考える。ある日、金持ちの老人とであった彼は、お屋敷をもらえれば、老人に対して自分の若さを提供してもいいと交換を持ちかける。若者は老人の姿に変わり、その屋敷に住むようになった、そして、老人になってやっこと「若さ」というすばらしい宝物を手放したことに気づく。だが、もうその時は遅かった。……。

やはりその夜がリトルの最後の夜になった。荒々しい呼吸をひとしきりした後、どこにそんな力があつたのか、「ワン」と一声出して、リトルはそのままの世へと旅だつて行った。

リトルは私に何を与えようとしたのだろうか。今こうして思い返してみると、リトルは老いる過程をしっかりと私に見せてくれた。老いるとはこういうこと、だからすっかり老いる前に、やるべきことをやりなさい、そう私に教えてくれていたような気がするのだが……。



お知らせ

「浜松支部総会」9月開催

浜松支部は、袋井市以西の静岡県西部地区をエリアとし、約800名の同窓生で組織しております。支部の活動は、本部や他支部との交流と2年に一度の総会及び懇親会の開催であり、同窓生の交流と親睦を図る機会としています。

参加者は文理2回卒の方から人文39回の若い方まで幅広い構成となっており、また女性も毎回、若干名出席頂いております。

浜松地方は、製造メーカーを中心とした地元企業が数多くありますが、縁あって地元企業に就職し定住される方は、是非、この機会に同窓会浜松支部に加入し、多くの先輩方と楽しく語らい、情報交換をしてみませんか。

<記>

今年度は2年に一度の「浜松支部総会」の開催年に当たり、下記の通り開催致します。皆様の積極的な参加を、お待ちしております！

**日時 2008年9月6日(土)
18:00開宴(受付17:40~)**

**場所 浜松名鉄ホテル3階 松の間
浜松市中区板屋町110-17
TEL 053-452-5111**

会費 6千円

浜松支部会員
水谷文一(人文5回卒) スズキ株式会社勤務

浜松支部連絡先

| | | | |
|-----|--------------|-------------|------------------|
| 支部長 | 阿部治彦(文理12回卒) | 浜松市新橋町1074 | TEL 053-447-5816 |
| 会計 | 浅野哲司(人文12回卒) | 浜松市楊子町553-2 | TEL 053-441-2972 |
| 幹事 | 袴田克弥(人文14回卒) | 磐田市見付4139-1 | TEL 0538-32-9368 |

穆寮会11月開催へ 大勢の参加を。

仰秀寮「穆寮」同窓会＝穆寮会は、静岡・名古屋・東京・関西と幹事を巡回制にして、開催しておりますが、今年は東京で開催することになりました。

時は、11月15日(土)夕刻から(宿泊)場所は、南青山会館(港区南青山5-7-10、TEL03-3406-1365)です。

詳細はこれから決定し連絡しますが、予定を確保していただき大勢集まっていたかくべく、あらかじめお知らせします。

最後の穆寮生も今年が還暦。大学20年

に及んで同じ釜の飯を食べた同輩の皆さん、万障差し繰って参加し、楽しく、はたまた激しく議論しあおうではありませんか。

穆寮会幹事一同(事務局長:羽田和久)
東京都西東京市谷戸町2-1-24-537
TEL08020432127

大学だより

大学生活という「道」

経済学科2年 南 遥香

去年歩いた新緑のキャンパスの中の同じ道を、今年は2年生として歩いている。私はどこに行きたいのだろうか?急な階段や山道、長く続く登り坂はまるでこれからの人生を表しているかのようだ。

昨年1年間の学生生活は私にとって、「学ぶ」ということの本質と改めて向き合った契機であった。受験のためでも、試験のためでもない、ただ自分が学びたいことを学ぶことが出来る大学生という立場は、非常に恵まれていると感じた。大学を休学して、その間ヘルパーの資格を取得し実際の現場で働いたという先輩と出会った時には、大学生ならではの時間の使い方を考えさせられもした。

大学に入学し、私は自身の内面に、勉強をしていく目的のベクトルをはっきりと向けるようになった。すると教授の言葉の一つ一つ、アルバイトの勤務内容、サークルの活動で出会った人とのやり取り…。これらが今までとは違った形で私の目の前に現れた。すべての素材が、自分の血肉となる要素であり、また「生きたもの」であるという事実に気付かされた。

入学してから指導教員の言葉を信じ、毎日毎日、新聞を読んで印象に残った記事をメモし続けてきた。授業で理解できなかったことがある度に教授の研究室に質問に行った。全国各地から来ている同級生とふれ合い、新しい価値観に出会った。1人暮らしに慣れてきた昨年の1月に、宅配業者を装った男に部屋に侵入されそうになったときには、多くの人

に手を差し伸べてもらった。古里を離れて生活していても、私1人で生きているのではないことを実感している。

ところで、「学ぶ」とは「生きる」ことなんじゃないか。このような1年を通してきて、学生であるいま私は思う。だからこそ言いたい。授業で学んだことを少しでも吸収しようと、毎日机に向かって勉強するのは、おかしなことですか?休日にも本を読みあさるのは無駄なことですか?たとえお金にならなくても、ボランティア活動をするのは価値がないことですか?単位を取るためだけの勉強は、あなたに何を与えてくれるのですか?

あなたは、どこへ行きたいのですか?

私は人に誇れるほど立派な成績をとってきただけでもないし、海外に留学をしたこともない。取り立てて特殊な学生生活をしてきたわけでもない。けれど、生きて、少しでも多くのことを多くのものから学びたいと誰よりも強く思っている。現在は地元の市役所で公務員として働くという目標を達成するために、授業の課題に加え資格取得や公務員科目の勉強に時間を費やす日々だ。机の上で本の文字を追い、語句を頭に入れていく毎日だが、繰り返し勉強して自分のものにしていく作業が今は苦にならない。

私の大学生活は2年目を迎えた。何を得られるのか。自分の足で、どこまで行けるのか。それを考えると、胸が高鳴ってしょうがない。

大学に入学して

人文学部 法学科 1年 勝谷 稜

今年の春に静岡大学に入学して3ヶ月目を迎えますが、大学生活を始めて間もない頃はこれから上手くやっていけるだろうかと心配で仕方ありませんでした。私はかなり面倒臭がりな性格の人間なので家事や勉強を疎かにしてしまうかもしれないと懸念していました。たまに自分から行動しても不器用さが災いして失敗することが多かったので、料理や大学でのレポート作成なども上手くいかどうか不安でした。更に私は福岡出身なので実家に顔を出そうにも時間も経費もかかりそう簡単には帰省できず、近場には親戚も知り合いもないので本当に孤立してしまったと実感したものです。何より大学とはどのような所なのかははっきり解っていなかったため、自分がどうするべきかも判断できませんでした。

しかし大学生活を送っていくにつれて自分がどう動き、どう課題をこなしていくかを考えられるようになって、それが少しずつ自信へと繋がっていきました。大学では高校までの受験の為の形式的な勉強とは違い、自分の受けたい授業を自分で選んで勉強していく事ができるので自由な印象がありますし、時間も完全に埋め尽くされたものでなく授業の無い時間でもできるので、それを活かして今までにできなかった様々な事を体験することができるようになっています。もちろん空き時間を使って授業の準備をする必要も出てきますが、時間に余裕がある分深い知識を得る事

もできる上に、それが自分の好奇心を湧き上げさせて勉強への意欲を高められます。勉強以外の面でも多様な部活・サークルや、諸外国からの留学生や教授との交流など私にとって「新しい」ものが多く、たくさんの物事に挑戦していこうという気になれました。

こうした経験がよい刺激となったのか私生活でも積極的に家事に取り組みめるようになり、かつては部屋の整理や掃除を面倒に思っていたかなやろうとしなかった私も、今では少し部屋の散らかり具合が気になればすぐに片付けに取り掛かれるようになりました。ほとんど親任せだった食器洗いや洗濯なども自分でできるようになり、充実感を得ています。一人暮らしは決して楽なものではないのですが、大学に入ってから今の生活を経験しなければ私も怠けがちな性格のままだったのかもしれない。そう思うと、本当に大学に入学してよかったと思っています。

私が思うに、大学は学生にあらゆることに挑戦させてくれる機会を与えてくれる貴重な場所です。その挑戦を通して得た経験から自然と前向きな気持ちになることができ、人としても成長できるのだらうと思いました。これからの大学生活を有意義かつ楽しいものにして、人生の中で最高の4年間にしていきたいと思っています。

「オススメの焦り方」

人文学部社会学科3年 高橋咲穂

最近、学年を聞かれて答えると、「3年生かー、忙しくなるね」とよく言われるようになった。

確かに3年生は忙しいようだ。私の周囲でも就職活動や教育実習、資格を取る予備校の

話をする人が増えてきた。大学生活を4年間と考えている人たちにとっては折り返し地点を過ぎた辺りでもある。入学してから今日までと同じ長さの時間が過ぎると、大学生活は終わる。私も世の中の流れで行くと、夏が終

わると「就活」とかやるのかな。私の本当にやりたいことって何だろう？それより私ってどんな人間なのだろう？何に向いていて、何が向いてないの？将来という、まだ見えなくて見当もつかないものを考える時、私たちはこういったことを考える傾向にあるようだ。

入学時、「4年間なんてあっという間だよ」と多くの人が言うのを聞いた。「もっと色々やっとならばなあ」なんて言う人もいた。私にとって彼らの言葉は脅しにしか思えなく、1年生の私をとても焦らせた。4年間という時間を少しも無駄にはできない。どうしたら後悔せずに過ごせるか？そのためには何でも見てやろう、やってみよう！充実感いっぱいの日々を過ごすことが、一番良い方法だと思っていた。しかし今、あんなに焦っていたのに毎日充実していたかと聞かれると、よく分からないのが正直なところだ。それなりに充実した学生生活を過ごしてきたと思う。例えば、講義を受けたり専門書を読むことで、それまで考えもしなかった物事に気付いたり、友人たちと時間を気にせずひたすら話したり、長期休暇を利用した旅行で新しい経験や出会いをしたり…。

それでも入学時に抱いた焦りは、ずっと消えないまま私の中にある。という話をある人

にしたら、「どうせ焦るんだったら、意味のある焦り方をしたほうがいいよ」と言われた。ただ焦っているだけでは余裕がなくなるだけで格好悪いし、自分の心にとってもよくない。つらさや不安が募るだけだ、と。でも意味のある焦り方ってどういうこと？

それは具体的に動いてみることだ。動いたことでさらに焦る結果になったとしても、私が焦った証拠として「とりあえず動いた」という事実が残せる。動かすのは身体でなくとも、何かについて考えたりすることも入る。その事実から、何か見えてくるものがあるはずだろう。これが私なりに考えた「意味のある焦り方」だ。言ってくれた人に答え合わせはしていないけれども、行動するきっかけとして「焦る」気持ちを上手く使えれば、その焦りは格好悪くないし、それなりに収穫があるのではないかな。

時間がたくさんあって、好きなことができると言われる学生生活。でも何もしなくても時間は過ぎていくし、誰にでも平等に時間は過ぎていく。私は残りの大学生活を相変わらず焦りながら過ごしていきたくらい。それが少しでも意味のある焦り方になるように、ひとまず今日は気になっている小説を読もう。

われら若人と恩贈り

言語文化1年 中村 奈々美

岡にただよう茶の香り
みかんの花のそれよりも
若く清くすこやかに
われら文化を荷う仲間たち

驚いた。同時に、そのまま静岡県のキャッチコピーになりそうな大学学生歌に感動した。入学式の時に聞いたこの曲は、高嶋善二さんが作詞、石井敏さんが作曲した静岡大学学生歌「われら若人」だ。

故郷を遠く離れて静岡に来た私は、自己紹介時に故郷について「それ、どこにある県？」と聞かれることを若干予想していた。だからその時誇らしげに紹介できるようにと春休みに少し地元のことを学んだりもしてきた。だからこの歌を聞いた時、仮に私の故郷版を作るとしたらどうなるのだろうかと考えた。

県の広さ日本一
リアス式海岸に小岩井農場

…詩的でないのは仕方ない。問題はそこではないのだ。とって逃げる。その時に気づいたのは、今まで自分がいかに故郷に無関心だったかという事だ。周りにあるものは全てあって当然だと感じていたから良さや意義を客観的に見ることをしなかった。澄んだ空気も、周りに広がる緑も、おっとりとした人々も皆大好きだが、「岩手」にしかない何か、「岩手」が自慢できる何かを考えながら生活すれば良かったと今になって思う。それは、広い視野で考えれば「日本」と置き換えることもできるし、焦点を絞れば「私」と置き換えることもできる。

「私」にしかない何か、「私」が自慢できる何か。

それを見つけるには、今までの“自分の半径数メートルしか考えていない自分”ではいけない。見聞を広げ、見たことのない分野にどんどん当たって（砕けたくないがある程度は覚悟を決めて）いくことが必要だ。大学を自分の世界の全てにするのではなく、自分の世界を築くための足掛かりにしたい。抽象的になって申し訳ないが、実際私が今描く目標は大まかなビジョンの中にしか見えないのだ。

言語学をやりたいと、具体的には、消えていく言語の保存方法を研究したくてこの学科に入学した。しかしその事に人生の全てを費やして良いのか、またそれは可能なのか、今はわからない。それに、一つの道を選んだからといって他の道を全て切り捨てるといのは勿体ない。だからこの四年間は、興味のある事柄全てにチャレンジし、様々な世界を見て、沢山のことを学び、自分の将来について悩まされたい。

話は変わるが「恩贈り」という言葉をご存じだろうか。広辞苑の第五版には載っていないので正規の単語ではないのかもしれない。今まで自分が頂いた御恩を他の人に贈る、という意味らしい。

一人暮らしを始めて、自分が家族や友人にとても助けてもらっていることを痛感した。それに比べて自分がどれだけ人の役に立てているかを考えたとき、私は無力だ。これから多くの人と関わっていく中で自己を磨き、容量を広げて、自分のことで精一杯な自分から卒業したい。そして家族や友人に恩返しをすることは勿論、これから出会う多くの人に恩贈りができる人間になりたい。

新任教員紹介

2008年4月から人文学部言語文化学科に着任した岡崎真紀子と申します。専門は、日本古代中世文学、とくに平安時代の和歌に関心を持っています。東京と神奈川で生まれ育ち、このたび初めて箱根の関を越えて駿河国で暮らすことになりました。静岡は、古くから京の都と東国を結ぶ交通の要衝であって、和歌や物語にも多く登場する土地です。静大での授業を通して、学生の皆さんに地元の文学的蓄積の豊かさを伝えつつ、自分の研究もいっそう発展させてゆきたいと期待しています。これからどうぞよろしくお願い申し上げます。

言語文化 岡崎 真紀子



刑法の担当として、2008年4月1日付けで着任しました神馬幸一と申します。研究室の窓から富士山を眺めることのできる自然豊かな環境の中で、教育・研究に携われることに大きな喜びを感じております。研究テーマとしては、医学研究・医療現場を巡る法的諸問題、特に、その中でも刑事法と接点を有する学際的分野に取り組んでおります。また、スイス留学という経験を生かして、日本では比較的、紹介されることの少ないスイス刑事法制に関する研究も行っております。

法学科 神馬 幸一



まだまだ至らない点があるかとは思いますが、同窓の皆様には、ご指導ご鞭撻の程、今後ともよろしくお願い致します。

言語文化学科比較言語文化コース留学生担当講師として4月に着任しました大原志麻です。

言語文化 大原 志麻



スペインの政治文化、そして文化を軸とした広域共同体の関係構造をヨーロッパという地理的枠組みの中で比較研究しています。制度史が主流の歴史学ですが、目に見えないインフォーマルなシステムという文化的視点から様々な事件を捉えなおすことによって、これまで未解決のまま残されてきた諸問題にアプローチしています。静岡大学には赴任してきたばかりですが、豊かな自然に恵まれたキャンパスで、先生方のご教示の下、学生と共に学ぶことに喜びを感じています。至らないところもあるかとは思いますが、同窓会の皆様にはどうぞよろしくお願い致します。

日本経済史担当の教員として4月に着任いたしました河村祥子と申します。古河、三菱といった多角経営体の企業行動を、日本の経営発展という文脈に位置づけつつ分析する実証研究を行っております。本年度担当の演習では、開講して間もないにもかかわらず、若者たちが時折みせてくれる素朴で瑞々しい反応に、自身が経済史の勉強を志した頃の「理屈抜きの感動」を思い出させられることが、既に何度かあります。このエネルギーを懸命に受け止め、フィードバックしていかねば、と日々奮闘しております。同窓会の皆さまの温かいお力添えに感謝申し上げます。静岡大学の一人として精一杯努力してまいります。どうぞ宜しくお願い致します。

経済学科 河村 祥子



金融論担当教員として4月1日に着任致しました小倉将志郎と申します。本学で研究・教育活動に携わる機会を得たこと、大変嬉しく思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

経済学科 小倉 将志郎



私の研究対象は、米国金融制度、特に投資銀行が主なアクターとなる米国証券市場です。また最近、先進国で顕著に見られる、経済活動に占める金融の役割・影響力の増大、金融の肥大化現象を、「経済の金融化（financialization）」という資本主義の新しい段階と捉える議論を検討しています。現在、世界経済に多大な影響を与えているサブプライム問題もこの枠組みで捉えられると考えます。「経済の金融化」が私たちにいったいどんな意味を持つのか、その解明が焦眉の課題です。

平成20年4月付けで社会学科歴史文化コース（世界近現代史）に着任いたしました戸部健（とべけん）と申します。専門は中国近代史です。「近代教育」の導入が中国社会にどのような影響を与えたのかを、主に未就学児童や成人の就学問題という角度から検討しています。

社会学科 戸部 健



私は学部の4年間を東京・多摩の中央大学で学びましたが、静岡大学は学園を取り巻く自然環境といい学生の気質といい中央大学ととてもよく似ていて、非常に愛着が持てます。このような素晴らしい学校で働けることに感謝しつつ、これからも教育・研究に邁進していきたいと思っております。今後とも宜しくお願いいたします。

臨床心理学担当の教員として、4月1日付で社会学科（心理学コース）に着任致しました笠井仁（かさいひとし）と申します。今からちょうど20年前に静岡で大学教員としてのスタートを切り、今回縁あって16年ぶりの静岡生活となりました。日本平に連なる標高差日本一のキャンパスに研究室を頂き、東に富士山、北に南アルプス、南に駿河湾をのぞんで、豊かな自然を満喫する毎日です。臨床心理学の中でも、催眠やイメージ技法による心理臨床を専門として、緩和ケアでの心理的援助の実践にも関わってきております。大学院臨床人間科学専攻では臨床心理士の養成にも携わることになります。気持ちを新たに、学生たちと学問の面白さを共有していきたいと思っております。同窓会の皆様にはご指導、ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

社会学科 笠井 仁



平成20年3月人文学部卒業生就職・進学等学科別一覧

| | 社会学科 | | | 言語文化学科 | | | 法学科(昼間) | | | 経済学科(昼間) | | | 法学科(夜間) | | | 経済学科(夜間) | | | 計 | | | |
|-------|-------|----|----|--------|----|----|---------|----|-----|----------|----|-----|---------|----|----|----------|----|----|-----|-----|-----|-----|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | |
| 卒業生 | 31 | 46 | 77 | 16 | 58 | 74 | 81 | 57 | 138 | 128 | 54 | 182 | 15 | 14 | 29 | 32 | 11 | 43 | 303 | 240 | 543 | |
| 就職者 | 22 | 40 | 62 | 10 | 49 | 59 | 52 | 35 | 87 | 103 | 45 | 148 | 4 | 5 | 9 | 14 | 3 | 17 | 205 | 177 | 382 | |
| 内 | 公務員 | 1 | 5 | 6 | 1 | 4 | 5 | 12 | 11 | 23 | 18 | 7 | 25 | 2 | 1 | 3 | 1 | 0 | 1 | 35 | 28 | 63 |
| | 教職公務員 | 1 | 1 | 2 | 0 | 2 | 2 | 1 | 0 | 1 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 3 | 7 |
| 訳 | 私学教員 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般企業等 | 20 | 34 | 54 | 9 | 43 | 52 | 39 | 24 | 63 | 83 | 38 | 121 | 2 | 4 | 6 | 13 | 3 | 16 | 166 | 146 | 312 |
| 進 | 大学院進学 | 4 | 3 | 7 | 3 | 5 | 8 | 14 | 9 | 24 | 4 | 5 | 9 | 0 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | 26 | 25 | 51 |
| | 専門学校 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| 学 | 留学 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | その他 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 3 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 1 | 5 |
| 未決定 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 3 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 4 | |
| 既就職者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 | 4 | 9 | 11 | 4 | 15 | 16 | 9 | 25 | |
| 就職しない | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 | 5 | |
| 就職未決定 | 4 | 3 | 7 | 2 | 4 | 6 | 9 | 8 | 17 | 21 | 2 | 23 | 6 | 1 | 7 | 5 | 3 | 8 | 47 | 21 | 68 | |

※進学その他(編入学生、研究生、科目等履修生、聴講生等)

※就職しない(国家試験・公務員試験・教員採用試験等受験予定者、主婦、結婚予定者等)

書籍紹介

『はじめよう経済学のための情報処理(第3版)―Excelによるデータ処理とシミュレーション―』

浅利一郎・山下隆之・伊東暁人・石橋太郎・黄愛珍 共著 日本評論社、2008年5月、239頁、2,300円+税

人文学部経済学科の特色のひとつである情報処理の授業のために開発されたテキストの最新版です。経済学科の有志による共同研究と授業改革実践の成果であり、経済系・経営系の情報処理教育のモデル・プランを示した内容となっています。1998年の初版以来、25大学を超える経済系・経営系の学部で教科書として採用され、全国的にも定評ある地位を築いてきました。

人文学部経済学科で行われている情報処理教育の水準の高さは、学生の就職活動においても有効に働いているようですが、その根底にあるのが、本書です。今回の改訂では、経済学科における産学連携・地域連携の成果を反映して、地域経済分析に重点をおいた改訂が行われました。卒業生の皆様にも役立つ内容となっています。

『雇用流動化のなかの家族―企業社会・家族・生活保障システム―』

船橋恵子・宮本みち子編著 ミネルヴァ書房2008年3月刊 2800円+税

グローバル化、IT革命、情報化、経済構造の変化などに伴い、雇用が流動化し家族も多様化しはじめてるように見える。2005年の日本家族社会学会大会シンポジウムで、マクロな経済の変化と家族の変動との相互関係を、データに基づいて理論的・実証的に検討する試みを行い、その成果をまとめた書物である。第Ⅰ部で企業経営の

不安定化、非正規雇用の拡大、失業やフリーターの増大、パートの基幹労働力化など現代家族を取り巻く企業社会の変化を論じ、第Ⅱ部でライフコースにそって若者、育児期や中高年期の家族が直面する諸問題を取り上げ、第Ⅲ部で雇用流動化時代に必要な生活保障の枠組を論じた。

『アテネ 最期の輝き』

澤田典子著 (岩波書店、08年3月刊)269+xix頁、2,940円(税込)

本書で描いたのは、アテネ民主政の歴史の「最終章」、すなわちアレクサンドロス大王が活躍した時代のアテネの政治・社会の実相である。

古代ギリシア史の通説的な解釈では、前338年のカイロネアの戦いでギリシア連合軍がマケドニアに敗れたことにより、ギリシアの「自由」に終止符が打たれ、栄光に満ちたギリシア史はこの時点で幕を下ろした、とされる。この敗戦をもって、ギリシア史の最盛期である「古典期」は終焉を迎え、アレクサンドロスの遠征に始まる全く異質の「ヘレニズム時代」が幕を開けた、と捉えられているのである。古代ギリシアの栄光を体現するポリスであり、ギリシア史のなかで研究が圧倒的に集中しているアテネも、前338年以降の歴史は注目を浴びることが少ない。しかし、アテネの民主政自体は、前338年の敗戦を経ても何ら

制度的な変更を被ることなく、アテネがラミア戦争に敗れる前322年まで不変の制度として存続していた。本書では、前338年をもってアテネに大きな断絶があったという前提からは距離を置き、民主政の「連続」を軸にすえて、「古代ギリシア最高の弁論家」として名高いデモステネス(前384～322)を中心に、「黄昏」とされる時代のアテネの実相に迫ることを試みた。親マケドニア派と反マケドニア派の政治的対立としてこの時期のアテネの政治を捉えてきた欧米における従来の研究を批判し、より実態に即した政治史像を提示すること、そして、「黄昏」と見なされてきたアテネ民主政の末期を、民主政が老衰した「衰退」の時期ではなく「最期の輝き」として捉え、アテネの歴史像をより立体的に描くことをめざしている。

「戦争の法のもとに」- 広島被爆者のなかに米兵もいた - 戦時国際法と、あの時代の空襲に焦点をあてる！ 戦時下小説

宮道佳男(人文3回卒 弁護士 名古屋在住)著 クリタ舎 定価1400円

<読後感想 人文3回卒 三島文夫>

宮道佳男君は、私と同期です。同期生の中で唯一人司法試験に合格し、現在弁護士として活躍されています。先日、この本を贈ってくれました。

この小説は、フィクションとはいいいながら、当時の状況下においては、ほぼ現実に近い実話のよ

うな感じがしました。

戦争は、してはいけない。しかし、現実には起こる。いったん戦争となれば、無差別殺人。いくら国際法遵守と叫んでみたところで、規則や規律など無きに等しいと思える。

だが、早瀬少佐は、戦火の中にあっても法律家

としての規律を全うした。早瀬少佐のような人間が軍の幹部にたくさんいれば、日米戦争も避けられたかもしれないと思った。

小さいことではあっても、軍縮への努力の積み重ねが必要と思う。最近、マスコミで、「福田首相がクラスター爆弾の禁止制限条約に前向きに努力」と報じられていました。このような努力が核兵器禁止へとつながり、戦争のない世界が実現することを願わずにはおれない。

本書を読んで、戦争の悲惨さをあらためて感じさせられた書である。

本書の中から、強く印象に残った箇所を以下にピックアップし、紹介に替えます。

『1945年6月24日、テニアン基地を飛び立ったB-29。北九州八幡を目指した。ホーキング少尉は、航空機関士で23歳。ルメイ少将は、訓示の中で「焼夷弾で住宅を焼け野原にする方が何倍も容易である」と述べた。「無差別攻撃は国際法に違反する」との意見も出たが、ルメイ少将は、「現代戦は、経済力の総力戦であって市民も潜在的戦力である」と反対意見を退けた。「命令だ、仕方がない」とホーキング少尉は今日の任務が事無く通り過ぎてくれることを願った。・・・B-29は、広島郊外の海岸に胴体着陸し、ホーキング少尉は陸軍憲兵隊に救助され、広島城内の陸軍憲兵隊拘禁所に収容された。

・・・7月7日、憲兵隊から早瀬少佐に事件送致書が届いた。早瀬少佐「市民の死者が多数出ている。焼夷弾を使用した訳は。ホーキング少尉「命令に従ったことである」。

・・・8月3日、広島軍律法廷。早瀬少佐「ホーキング少尉は民間人に対して焼夷弾による無差別爆撃を敢行し、多数の死傷者、罹災家屋多数の損失を及ぼした。これは空襲軍律に違反するとともに国際法にも違反する非人道的犯罪である。』。

山本審判長「通常爆弾を用いず焼夷弾を投下しているのは、何故か」、「八幡が燃えているとき、火の中に市民がいるとは思わなかったか」。ホーキング少尉「これが戦争だ。仕様がなし」、「すべ

て命令に従ったことである」、「真珠湾のだまし討ちをしたのは日本だ。これは戦争なのだ。アメリカ力は必ず復讐をする」と山本審判長を睨みつけて叫んだ。山本審判長「この法廷は戦争の善悪を裁くのではなく、国際条約で確立した、無差別爆撃禁止の国際法により、米軍と貴官の行為を裁くものである」。・・・審判長は審判書を読み上げた。「被告人に対して銃殺刑の死刑を宣告する」。早瀬少佐は、憲兵隊永井中尉を呼び出し、処刑場の設営を命じた。「6日朝8時30分に銃殺刑の執行を行う」と告げた。

・・・早瀬少佐が拘禁所の石積塀を右手にして庇の下を進み、離れる直前だった。8時15分、真上で巨大な炸裂、視界が白銀となったのは憶えているが、それから瞬間窒息して失神していたかも知れぬ」。・・・拘禁所の瓦礫の中からホーキング少尉が這い出てきた。額からドクドと出血し、「アトミック・ボンブ」と口走る。

永井中尉が言った。「少佐殿、やっしまいましたしょう」、「銃殺刑ですよ。早瀬少佐「それはできない。銃殺兵もなく立会いの軍医もない」、「ここで殺せば銃殺刑の執行ではなくなる。たんなるリンチの殺人罪である。法の名のもとに死刑を宣告した以上、法に則り死刑を執行しなければならない。早瀬少佐はホーキング少尉に、「手錠を外す。付いてこい」と命じた。・・・早瀬が倒れると、ホーキング少尉は早瀬の左腕を抱えて肩に背負った。ホーキング少尉は言った。「アメリカは敗れた」。早瀬はホーキング少尉の青い目から大粒の涙が落ちるのを見た。周りの被災者たちがいっせいに石や棒を拾い飛び掛ろうと腰を上げた。このとき、南部式拳銃を中空に一発発射。「静まれ、捕虜の処刑は、裁判以外禁止である。護送中の捕虜に手を出すな」と絶叫した。「捕虜も重傷、今や同じ被災者である」昏倒した早瀬の鮮血の顔面に、黒い雨が降り続く。意識が遠のく。もう何も聞こえない。』



「わが職業は普通選挙なり」- 中村太八郎とその周辺 -

瀬戸口勝義(文理15回卒)著 出版日 2001年1月25日 出版社 不二出版(東京都文京区向丘1-2-12) 定価3,200円

<堀田雅男さん(文理15回卒 民法ゼミ)からの紹介> 私の友人でもある同期生が高校教師を退職した直後、長らく暖めていたテーマについて、前記の大書を出版しました。

この著書は、普通選挙の実現を図るべく、文字どおり東奔西走した自由民権運動家の一人、中村太八郎の生涯を辿ったものですが、京都大学教授で大正デモクラシー研究の第一人者である松尾尊

兌氏が「もっとも信頼すべき中村太八郎伝」と第一級の評価を与えており、十分紹介するに値する書籍と思います。出版年が2001年といささか古い嫌いはありますが、政権交代が見えてきた現在、本書は、次の総選挙で慎重かつ後悔のない選択をするためのスプリング・ボードとなるに違いない、その意味で本書の紹介は決して遅すぎることはないと思います。

◎書籍紹介欄の活用について

堀田雅男さんから、「書籍紹介欄への掲載は、現職教官の著作に限るのか。」との質問がありました。そういうことは、ありません。同窓生の筆になる書籍については、大歓迎です。読後の書評、感想などもぜひお寄せください。

※本部あてに住所変更していただきますと所属支部も自動的に変更となります。

会員の皆様へお願い

次の場合には必ず、「変更データ個人票」を同窓会事務局までお送りください。

- ・転勤、引っ越し等により、住所が変わったとき。
- ・自宅の電話番号が変わったとき。
- ・結婚等により、姓が変わったとき。
- ・勤務する会社等が変わったとき。
- ・その他会員名簿の記載事項に変更が生じたとき。

住所等の変更は、速やかにこの用紙に記入の上事務局へお送りください。

| | | | | | |
|--|-------|-------|---------------|-----------|----|
| 静岡大学文理・人文学部同窓会 | | 全部で | 件 | * データ作成者名 | |
| 変更データ個人票 | | No. | | 電 話 () - | |
| 変更データ入手日 | | 本部受取日 | | データ更新日 | |
| 年 月 日 | | 年 月 日 | | 年 月 日 | |
| 個人コード番号 | | | 連絡事項 | | |
| * 文理・人文学部 | | 回 | 昭和・平成 | 年卒業 | 専攻 |
| ふりがな | | ふりがな | | | |
| * 氏 名 | | 新 氏 名 | | | |
| * 名簿の 氏名 住所 電話 勤め先 支部 の変更(該当するところへ○を付ける) | | | | | |
| 新住所 | 〒 | | | | |
| 新電話 | () - | | 新勤め先 会 社 名 | | |
| メー ル | | | 電 話 () - | | |